

熊本市立植木病院で診療を受けられる皆様へ

熊本市立植木病院（当院）では、下記の研究を行っておりますのでお知らせいたします。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお知らせください。

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。

1. 研究課題：High risk Stage II 大腸癌の危険因子再考に関する検討
2. 対象者：2008年1月1日～2012年12月31日まで、熊本市立植木病院で大腸癌の手術を受けられ、Stage II と診断された方
3. 研究期間：2017年11月11日～2018年6月30日
4. 研究責任者：熊本市立植木病院 外科 石川晋之
5. 研究の目的：

Stage II と診断された大腸癌は基本的に補助化学療法の対象ではありませんが、各種ガイドラインで規定された危険因子を有する場合は、high risk Stage II として補助化学療法を行うことが推奨されてきました。ところが、近年になり、危険因子を有する場合でも、補助化学療法で予後が改善しないという結果が複数報告されています。しかし、Stage II で再発する例はあります。そこで、再発危険群の設定方法に問題があると考え、選定方法を考え直すこととしました。

6. 研究の方法：

上記対象者の方の診療録（カルテ）からデータを集積し、各種ガイドラインや臨床試験で規定されていた危険因子を再検討し、統計学的手法を用いて新たに高危険群の設定を行います。これにより、補助化学療法で予後が改善するのはどのような状況なのかが判るようになると考えています。

7. その他：

本研究で使用される診療情報は通常の診療過程で得られたもののみですので、患者様に不利益はございません。また、研究のために新たに検査を追加することはありません。今回の研究で解析する項目に、遺伝子情報は一切含まれておりません。

問い合わせ先：個人情報保護相談窓口

TEL：096-273-2111（内線：101）